

令和元年10月29日（火）

「SIMおおつち大槌町役場フィールドワーク」

10月29日（火）に総合的な探究の時間の活動で、大槌町役場へのフィールドワークを実施しました。

1学年の総合的な探究の時間では、夏休み明けからの約3ヶ月で行政が行う事業を学び、シュミレーションゲームを通して体験する「SIMおおつち」という取り組みを行なっています。生徒たちは6つの仮想部局（地域活性部・産業振興部・健康福祉部・防災環境部・教育文化部・復興未来部）に分かれ、各部局ごとに3つずつ行政事業の調べ学習を行なってきました。今回は、調べ学習をする中で出た質問を持って大槌町役場にお伺いし、各課長や職員の皆さんに回答・助言をいただきました。



生徒たちの質問に役場の皆さんも熱心に分かりやすく回答してくださり、机上での調べ学習だけでは実感できない事業を行う価値やそれを予算の中で推進していく難しさを改めて知る機会となりました。生徒からは、「役場の方々の町に対する熱い想いを感じた」「必要性を感じられなかった事業にも様々な理由や願いが込められていることが分かった」といった感想があげられました。

今後は12月3日（火）に実施するSIMおおつちポスター発表「これからの大槌町のすがた」に向けて、まとめの作業に取り組んでいく予定です。





平野町長と沼田教育長にもお越しいただき、お話をいただきました。



生徒たち自ら役場職員の皆さんの元へ、声をかけに行きました。

